日露戦争勝利の秘史　敵中横断三百里（1957）

メディア 映画
ジャンル 戦争
製作国 日本
色彩 B&W
時間 83分
初公開日 1957/12/28

【解説】
山中峯太郎の人気小説『敵中横断三百里』を「どん底」でコンビを組んだ黒澤明と小国英雄が脚色し「稲妻街道」の森一生が監督した。
昭和三十八年、日本軍は旅順要塞の陥落を成功させるが、すでに兵力も物資も底を尽きかけていた。ロシア軍が大兵力を集中させているのは鉄嶺か奉天か、それを探るため第二軍騎兵第九連隊の建川中尉以下五名が、敵中深く潜入することになった。六人はコサックの大軍、馬賊、吹雪など様々な障壁をかいくぐり、ようやくロシア軍の外套をまとって市街に入り込んだ。ロシア軍が集結し汽車に乗って奉天へ向かっていることを確認した六人は、調査結果を伝えるため南下を始めるのだったが…。

【クレジット】
監督 森一生
製作 永田雅一［製作］
企画 米田治
原作 山中峯太郎
脚本 黒澤明　Akira Kurosawa
小国英雄　Hideo Oguni
撮影 高橋通夫
美術 下河原友雄
音楽 鈴木静一
出演 菅原謙二
北原義郎
高松英郎
根上淳
品川隆二
川崎敬三
船越英二
石井竜一
中村伸郎

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.